東京都立大江戸高等学校　平成３０年度　地歴・公民科　年間授業計画

１．科目名　　現代社会　　２．講座名（単位数）　現代社会（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　『高等学校 改訂版 新現代社会』（第一学習社）『新編テーマ別資料 現代社会 2018』（とうほう）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
１学期	4 5 6 7	○青年期と自己形成 ⑴ 青年期の意味 ⑵ 自己形成の課題 ○現代の民主政治 ⑴ 基本的人権と法の支配 ⑵ 日本国憲法の基本原理 ⑶ 裁判所と人権保障 ⑷ 選挙制度の現状と課題	○青年期がもつ意味を理解し、青年期に特有の悩みを解決しアイデンティティを確立する方法を探る。 ○憲法と人権について学習する。 ○国会、内閣、裁判所の役割について学習する。 ○選挙制度について学習する。	○現代社会の諸課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、民主的な社会生活の実現について客観的に考察しようとしている。 ○現代社会に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について、広い視野に立って、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 ○現代社会に関わる諸資料から、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 ○現代社会に関する基礎的・基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。 上記の観点に基づき、 １　定期考査 ２　提出物・取り組みから総合的に評価する	4 8 8 6
２学期	9 10 11 12	○環境と私たちの生活 ⑴ かけがえのない地球 ⑵ むしばまれる地球の環境 ○資源・エネルギー問題と私たちの生活 ⑴ 資源と私たちの生活 ⑵ 新エネルギーの開発 ○現代の経済社会 ⑴ 産業構造の変化 ⑵ 企業の役割と社会的責任 ⑶ 政府の経済的役割 ⑷ 金融機関の働き	○地球的規模の環境問題について、どのようなものがあり、人間生活にどのような影響を与えるかを学習する。 ○限りある資源と、生活に重要なエネルギーについて学習する。 ○日本経済について、企業・政府・家計の役割という点に着目し学習する。 ○財政・金融について学習する。		8 6 8 6
３学期	1 2 3	○国際経済の動向と日本の役割 ⑴ 世界の経済体制の動向 ⑵ 国際分業と貿易 ⑶ 国際収支と為替相場 ○国際政治の動向と日本の役割 ⑴ 第二次世界大戦後の国際社会 ⑵ 国家主権と国際法	○世界の経済体制をながめ、資本主義と社会主義について学習する。 ○貿易、為替相場、国際協力体制という点から日本と世界とのつながりを学習する。 ○現代世界でおこっている諸問題について学習する。		6 6 4
				予定時数計	70